



多田 龍吉 議員

1、本年度重点施策の成果と課題について

Q 重点施策の成果と課題は如何に

A 集団移転団地の宅地整備完成

Q 重点施策の成果と課題は如何に

A 集団移転団地の宅地整備完成

Q 重点施策の成果と課題は如何に

A 集団移転団地の宅地整備完成

市政運営の基本方針として五つの重点施策を示したが、成果と課題を伺う。

市長 ①安全安心に暮らせる防災自立都市づくりの推進では集団移転団地の宅地整備が完了し、残る災害公営住宅の整備の推進を図る。電源供給できるスマート防災エコタウンも

完成した。多重防衛施設も姿が見えつつあるが防潮堤復旧や避難道路の整備は時間を要して道半ばだ。

②若い世代の定住促進では、定住化促進事業費補助金を新設し8件の申請で、子育て世代が転入。地域おこし協力隊、医療費助成制度の拡充、子育て支援、保育園の整備



▲完成した野蒜ヶ丘の住宅建築ラッシュ



▲学力向上に向けて



阿部としゑ 議員

1、学力向上について問う

Q 学力向上について問う

A 家庭学習の習慣化をはかる

Q 学力向上について問う

A 家庭学習の習慣化をはかる

本市教育委員会や民生教育常任委員会も、学力向上に向け学力上位の秋田県横手市等を視察研修している。各方面で努力はしているが、全国平均、県平均を下回る状態にある。その原因は、児童生徒の学習習慣や基本的な生活習慣にあると考えられる。夢や希望をもち、目標

に向かって勉強をやりたと思う環境をつくってやるのも我々の務めと考える。スマートフォン等の夜間の取り扱い、授業力、教師力の向上、教育予算の確立。これまでも違った対策について。

市長・教育長 スマートフォン等の使用について、家庭生活の中で親と子がルールを決めて管理すべき。教師としての力量アップのため、授業研修の充実等を図りたい。自由に使える教育予算はない。今後予算の確保に努めていく。児童・生徒の学習意欲の喚起、授業力の向上、基本的な生活習慣を土台とした家庭学習の習慣化をはかっていく。